

### 3 榎川・府中大川河川改修等事業の促進について

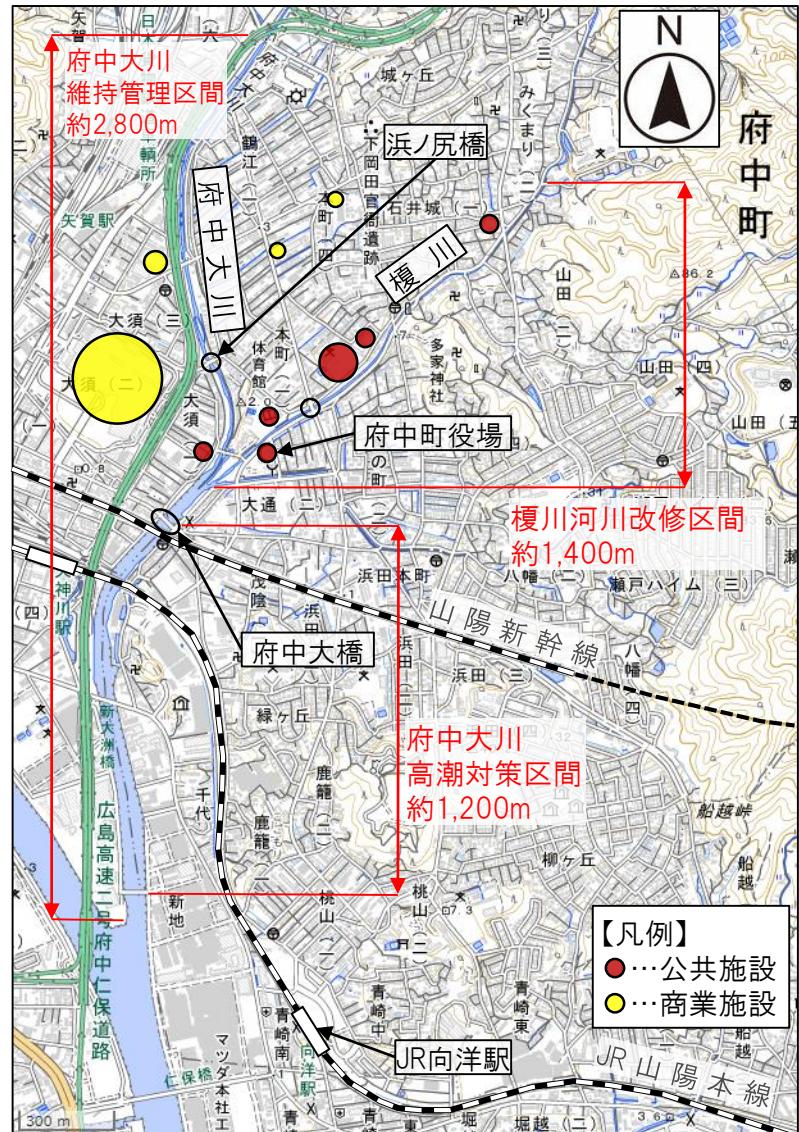
#### 県への提案事項

#### 榎川・府中大川河川改修等事業の 重点的な予算配分と川づくり 実施計画への位置付け

● 災害から住民の生命と財産を守り、安心・安全な暮らしを確保するため、また、都市計画道路や公園の都市基盤整備に向け、

- ①榎川河川改修事業や府中大川の高潮対策事業促進
- ②河道浚渫や護岸補修等の適切な維持管理の実施

の2点に係る重点的な予算配分を要望するとともに、これらの事業について、次期川づくり実施計画(令和8年度～)への位置づけについても、格段のご配慮をお願いします。



## 現 状

- 一級河川榎川及び府中大川流域には、公共施設や多くの商業施設など、住民生活の基盤となる施設が集中しています。
- 平成30年豪雨災害で護岸が崩落しており、榎川沿線の住民から、旧来の石積護岸についてその安全性を不安視する声が寄せられています。加えて左岸側は、県道上宮町新地線の兼用護岸ですが、歩道幅が狭く段差がひどいため、PTAや障害者、ベビーカー利用者からバリアフリー化をはじめとした改善を要望する声が寄せられています。
- 府中大川では、上流の広島市域よりも勾配が緩くなっていることから、町域に土砂が堆積しやすい状況が続いている。
- 本事業は、令和3年3月に策定した「府中町国土強靭化計画」において重要な事業と位置付けています。



↑ 榎川・府中大川の合流地点



↑ 榎川河川改修(途中)の様子

## 課 題

- いずれの河川も、計画流量である30年確率相当規模の降雨による洪水を安全に流下させる河川断面を確保する必要があります。また、近年多発する集中豪雨により、周辺の宅地に被害が発生する可能性が高い河川であることから、河川改修や土砂の浚渫など早急な対応が必要です。
- 府中大川下流域では、高潮による浸水被害が想定されていることから、高潮対策も必要です。
- 太田川流域治水プロジェクトで位置付けている下水道施設の改築、耐水化と一体的な対策が必要です。



↑ 県道上宮町新地線(兼用護岸)歩道の状況